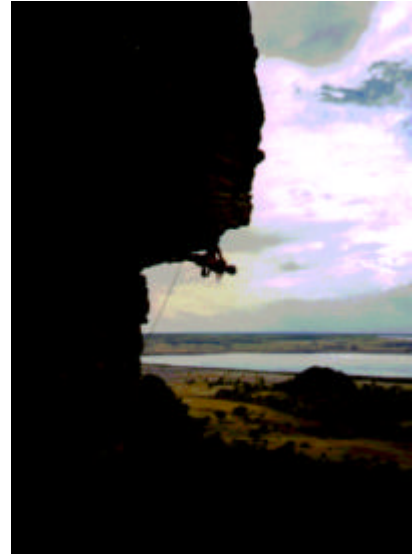


0-3 アラプリーズ Arapiles

アラプリーズはシドニー周辺や近くのグランピアンズとは違い、何もない平原の中にある。高さこそないが10数キロ先のハイウェイからその姿を確認することができる。ここにはトランジショナルなルートを含めると1500本以上のルートがある。岩質は砂岩だがシドニー周辺や他の世界各地にある砂岩の岩場に比べるとこれが砂岩なの？というほど堅い。その為ナチュラルプロテクションもばっちり効かせる事ができる。そうは理由からか、この地ではどうしてもプロテクションが取れない所だボルトが打ってありその他は基本的には自分でプロテクションをセットして登るルートが多い。また、岩場の基部には大きなボルダーも転がっていて多くのボルダーが集まっている。岩場の下にはすぐキャンプ場がありまさにクライミングのみで専念できる。シーズン中には現在でも多くのクライマーが世界中から集まってくる。私が訪れたのは1992年、ちょうどイギリスからモファットとジョンマイルズが来ていて、何度か同じエリアで顔を合わせた。この文章もかなり古いので現地情報は大きく変わっていると思われる。また、グランピアンズも1時間半のドライブで行くことができるので両方を組み合わせて行くといい。



岩質
砂岩

ルート

岩場は3キロ四方に渡って点在している。ルートは無限にあるがほとんど初登以後登られていないようなルートも多くチョークがついているルートをお勧めする。私が行った1992年の時点ではキャロットハンガーが主流であった。その為キャロットハンガーは必需品。また、ロックス類のsmallサイズはアンカーの上からネクタイのように締め付ければハンガー代わりになるので多めに持つこと。当然ナチュラルプロテクションのセットは確実に行えるようにしておくこと。特に普段日本では使うことのないIRPがばっちり効く。また終了点を自分でセットしなければならないルートも多いので注意が必要。最近ではフェースのルートも多くつくられているが、たいていカチホールドに耐えて引き付けて登るルートか、フェースとクラックのミックスされたようなルートが多い。一言で言うならばまさに大人の岩場といった感じである。

宿泊

岩場の下がキャンプ場になっている。1992年の時点ではフリーだったが、現在は1人2泊必要とのこと。モテルやキャラバンパークは30キロ離れたホーシャムにある。

シーズン

10月から4月位。暑い日でも日陰のエリアもあるので上手く組み合わせれば充実したクライミングが行える。

ショッピング

一番近い村は10キロほど離れたナチマックでこのミルクバーはクライマー御用達。またちょっとしたクライミングギアを売っている店もある。一番大きな街は30キロ離れたホーシャムですべての物はここで手に入る。トポは(ARAPILES SELECTED CLIMBS)が1999年に発売されていて、昔のには比べればこれ以上ないという出来栄のものが発売されている。この中にはボルダーリングガイドも記されている。

アプローチ

ここではMELBOURNEからを紹介する。ウエスタンハイウェイ8号を西に300キロほど走った所にHORSHAMの街がある。すぐ手前にはグランピアンズがある。ホーシャムからはNATIMUKの村を経由してすぐARAPILESに着く。メルボルンからは約4時間ほど。途中オービスやネズミ捕りをやっているので注意すること。

92年3月 木村伸介